



統計資料 21-13

平成 21 年

群馬県移動人口調査結果

(年 報)

群馬県企画部統計課

ま え が き

この報告書は、毎月実施している「群馬県移動人口調査」の結果より、平成20年10月から平成21年9月までの1年間における市町村別の人口、世帯数及びその移動状況をまとめたものです。

この報告書が、各種行政施策をはじめ、各分野での基礎資料として広く御活用いただければ幸いです。

この調査の実施にあたり、日頃から特段の御協力をいただいております各市町村の関係各位に対しまして、深く感謝申し上げますとともに、今後とも一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年1月

群馬県企画部長 細野 初男

利 用 上 の 注 意

1 この報告書は、県下市町村の人口や世帯数及びその動向（自然増減や社会増減）を明らかにするために実施している「群馬県移動人口調査」の平成20年10月から平成21年9月までの調査結果を収録したものです。

本調査は、平成17年10月1日実施の国勢調査結果による人口及び世帯数を基礎とし、これに毎月の住民基本台帳法及び外国人登録法に定める届出に基づく移動数等を加減して算出しています。

なお、社会動態のうち「県内」における転出につきましては、県内転出者数と県内転入者数を一致させるために、県内からの転入の届出があった時点で前住地の市町村に転出の届出がなされたものとみなし届出のあった転入者数をベースに転出者数を組み替えて算出しています。

2 総務省統計局が算定している「人口推計」や、総務省自治行政局が公表している「住民基本台帳人口」とは、人口の定義や算出方法が異なるため合致していませんので、利用にあたっては御留意ください。

3 その他

- ・ 統計表は、平成21年10月1日現在の市町村境域について集計したものであり、平成20年10月1日以降の各月の市町村の数値の集計については、平成21年10月1日現在の市町村合併後に対応しています。
- ・ 結果概要の摘要及び統計表中一印は減少を示します。
- ・ 統計表中の比率は、第1表の人口・世帯については、平成20年10月1日現在の人口・世帯に対する百分比（%：パーセント）で、第2表の人口増加・自然動態及び社会動態については平成20年10月1日現在の人口における千分比（‰：パーミル）で算出しています。
- ・ 人口密度の算出に用いる面積は、国土交通省国土地理院「平成20年全国都道府県市区町村別面積調」によります。ただし、※印につきましては境界の一部が未定のため平成17年国勢調査報告書で用いられている総務省統計局が推計した数字を使用しています。

* この報告書に関するお問い合わせは、
群馬県企画部統計課人口社会係 TEL 027-226-2408（直通）へお願いします。

目 次

調査結果の概要

1 本県の人口と世帯	1 頁
2 市町村別人口	3
3 本県の自然動態	10
4 本県の社会動態	11
群馬県移動人口調査の概要	13

統 計 表

第 1 表	市町村別人口及び世帯	15
第 2 表	市町村別人口増減状況	19
第 3 表	月別市町村別人口推移	23
第 4 表	月別市町村別世帯数推移	27
第 5 表	県内からの転入者数	31
第 6 表	県内への転出者数	33
第 7 表	県外からの転入者数	35
第 8 表	県外への転出者数	37
第 9 表	出生者数	39
第 10 表	死亡者数	41
第 11 表	都道府県別転入者数	43
第 12 表	都道府県別転出者数	44
付表 1	県内市町村間の転入・転出者数一覧表(総数・男・女)	巻末
2	市町村別県外からの転入者数一覧表(総数・男・女)	巻末
3	市町村別県外への転出者数一覧表(総数・男・女)	巻末

調査結果の概要

1 本県の人口と世帯（平成21年10月1日現在）

（表1参照）

（1）人口は2,006,903人

本県の人口は2,006,903人で前年（2,012,816人）に比べると5,913人減少した。

なお、平成18年から平成21年の人口は、平成17年国勢調査結果（確定値）を基に群馬県移動人口調査によって得られた人口の移動数に基づいて推計した値である。

（2）人口増減率は-0.29%

本県の人口増減率は-0.29%で平成16年から6年連続でマイナスとなった。

（3）性比は96.7人

男女別人口をみると、男986,813人、女1,020,090人で、前年に比べて男性は3,451人減少し、女性は2,462人減少した。

性比（女100人に対する男の数）は96.7人であり、この10年間は概ね97.4人～96.7人へと推移している。

（4）人口密度は315.4人/km²

国土交通省国土地理院による「全国都道府県市区町村別面積調」（平成20年10月1日現在）に、一部境界線未定の部分について総務省統計局「平成17年国勢調査報告」中の推定値を加えた県土面積6,363.16km²をもとに算出した人口密度は315.4人/km²となり、前年と比較し0.9人/km²減少した。

（5）世帯数は754,197世帯

本県の世帯数は754,197世帯で、前年（749,068世帯）と比べると、5,129世帯増加した。

（統計表第1表参照）

（6）1世帯あたり人員は2.66人

1世帯あたり人員は、前年（2.69人）より0.03人減少し、2.66人となった。1世帯あたり人員の動きについては、一貫して減少傾向にあり、世帯規模は縮小を続けている。

表1 本県の人口及び世帯数の推移

年次	人 口 1)			人口増減数 2)	増減率 3)	人口密度 1平方km あたり	性 比 女100人に対 する男の数	世 帯 数 各年10月1日現在	1世帯 あたり 人 員
	各年10月1日現在								
	総 数	男	女						
	人	人	人	人	%	人	人	世帯	人
大正9	1,052,610	514,106	538,504	—	—	166.7	95.5	195,486	5.38
14	1,118,858	548,633	570,225	66,248	1.23	177.2	96.2	207,223	5.40
昭和5	1,186,080	581,007	605,073	67,222	1.17	187.2	96.0	217,058	5.46
10	1,242,453	606,779	635,674	56,373	0.93	196.1	95.5	225,223	5.52
15	1,299,027	637,708	661,319	56,574	0.89	205.0	96.4	234,332	5.54
22	1,572,787	759,140	813,647	273,760	2.77	244.0	93.3	295,802	5.32
25	1,601,380	778,910	822,470	28,593	0.60	252.8	94.7	294,846	5.43
30	1,613,549	781,607	831,942	12,169	0.15	254.8	93.9	301,500	5.35
35	1,578,476	759,639	818,837	-35,073	-0.44	248.6	92.8	321,441	4.91
40	1,605,584	778,916	826,668	27,108	0.34	252.8	94.2	359,831	4.46
45	1,658,909	808,270	850,639	53,325	0.66	261.0	95.0	405,344	4.09
50	1,756,480	859,364	897,116	97,571	1.15	276.4	95.8	459,914	3.82
55	1,848,562	908,871	939,691	92,082	1.03	290.9	96.7	516,390	3.58
60	1,921,259	947,013	974,246	72,697	0.77	302.3	97.2	556,268	3.45
平成2	1,966,265	971,704	994,561	45,006	0.46	309.0	97.7	603,198	3.26
7	2,003,540	989,610	1,013,930	37,275	0.38	314.9	97.6	650,836	3.08
12	2,024,852	999,349	1,025,503	21,312	0.21	318.2	97.4	695,092	2.91
17	2,024,135	996,346	1,027,789	-717	-0.01	318.1	96.9	726,203	2.79
13	2,029,227	1,000,732	1,028,495	4,375	0.22	318.9	97.3	704,054	2.88
14	2,029,561	999,740	1,029,821	334	0.02	319.0	97.1	709,435	2.86
15	2,029,625	999,561	1,030,064	64	0.00	319.0	97.0	715,247	2.84
16	2,027,362	998,017	1,029,345	-2,263	-0.11	318.6	97.0	721,112	2.81
17	2,024,135	996,346	1,027,789	-3,227	-0.16	318.1	96.9	726,203	2.79
18	2,019,297	994,154	1,025,143	-4,838	-0.24	317.3	97.0	734,016	2.75
19	2,016,027	992,074	1,023,953	-3,270	-0.16	316.8	96.9	742,122	2.72
20	2,012,816	990,264	1,022,552	-3,211	-0.16	316.3	96.8	749,068	2.69
21	2,006,903	986,813	1,020,090	-5,913	-0.29	315.4	96.7	754,197	2.66

- 1) 大正9年から平成12年まで及び17年は国勢調査結果
平成13年～平成16年(斜体)は総務省統計局の平成17年国勢調査結果による補間補正人口で世帯数も同様に補間補正したものであり、以前公表した群馬県移動人口調査結果とは異なる
平成18年～平成21年は群馬県移動人口調査結果
- 2) 大正14年から平成17年までは前国勢調査からの人口増減数、平成13年以降は1年間の増減数
- 3) 人口増減数を期間初めの人口で除したもの
ただし、大正14年から平成17年までは年率に換算している

2 市町村別人口

(1) 市部・郡部別人口

市部・郡部別人口を見ると、市部が 1,698,789人、郡部が 308,114人で、前年に比べて市部が 3,568人の減少、郡部が 2,345人の減少となった。

また、市部・郡部別人口の割合は市部が 84.6%、郡部が 15.4%であり、前年と同じ割合であった。人口増減率については、市部が -0.21%、郡部が -0.76%となっている。

なお、市部・郡部別人口を前年と単純比較すると、合併等により市部が43,478人増加し、郡部が49,391人減少した。

(表2参照)

表2 市部・郡部別人口 (各年10月1日現在)

	平成21年			市部・郡部別割合	平成20年			市部・郡部別割合	対前年増減数	対前年増減率
	人口				人口					
	総数	男	女		総数	男	女			
市部	1,698,789	834,755	864,034	84.6	(1,655,311)	(813,726)	(841,585)	(82.2)	(43,478)	(2.63)
郡部	308,114	152,058	156,056	15.4	(357,505)	(176,538)	(180,967)	(17.8)	(-49,391)	(-13.82)
					310,459	153,314	157,145	15.4	-2,345	-0.76

注)平成20年の市部・郡別人口及び割合は、平成21年10月1日現在の市町村境域に組み替えている。()内は、平成20年10月1日現在の市町村境域の数値である。

(2) 市町村別人口

ア 市部

市部では、30万人以上の市が2市、20万人以上～30万人未満の市が2市、10万人以上～20万人未満の市が1市、5万人以上～10万人未満の市が7市の計12市である。

上位5市は、高崎市 369,088人、前橋市 338,793人、太田市 214,612人、伊勢崎市 204,917人、桐生市 122,330人と続き、この5市で県人口の 62.3%を占めている。

(表3、図1参照)

イ 郡部

町村別人口では、大泉町の 40,823人が最も多く、最も少ないのは、上野村の 1,354人である。人口規模は、3万人以上5万人未満は2町、2万人以上3万人未満が2町、1万人以上2万人未満が9町村、3千人以上1万人未満が7町村、3千人未満が4町村となっている。

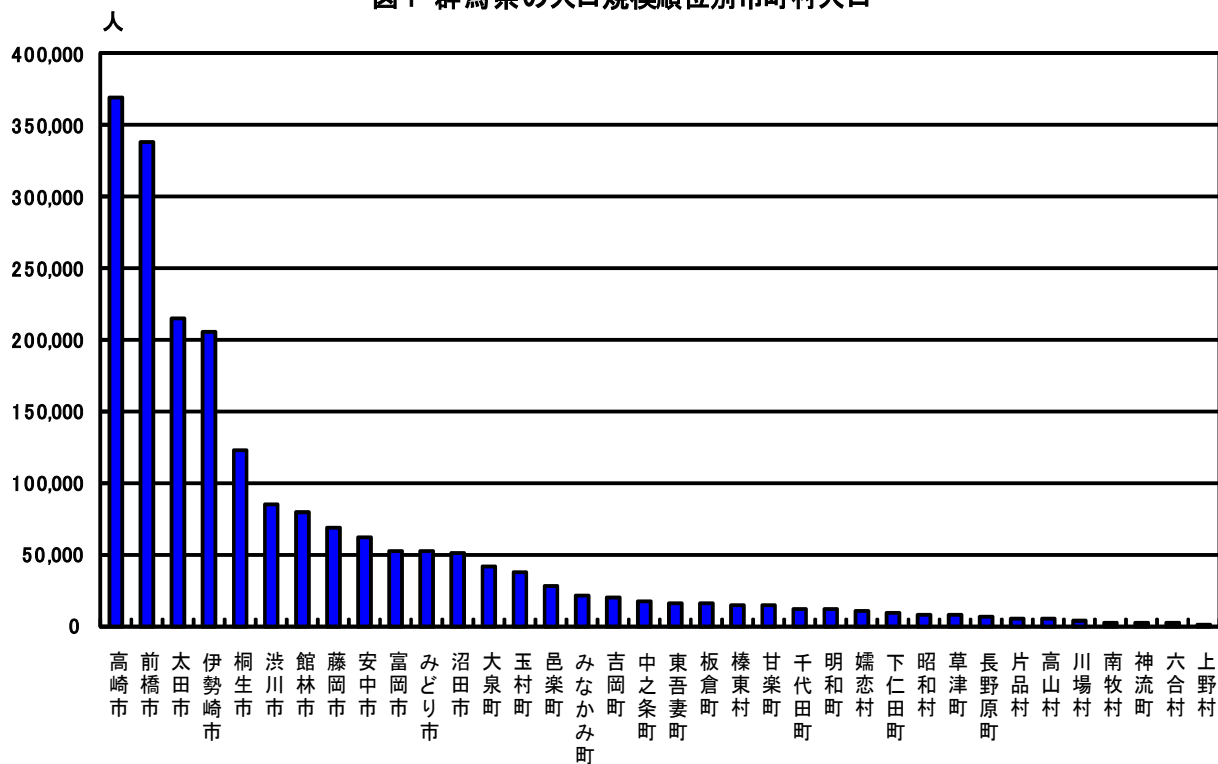
(表3、図1参照)

表3 市町村別人口(平成21年10月1日現在)

(単位:人)

人口 順位	市町村名	人口	人口 順位	市町村名	人口
—	群馬県	2,006,903			
1	高崎市	369,088	19	東吾妻町	15,944
2	前橋市	338,793	20	板倉町	15,754
3	太田市	214,612	21	榛東村	14,266
4	伊勢崎市	204,917	22	甘楽町	13,798
5	桐生市	122,330	23	千代田町	11,559
6	渋川市	85,056	24	明和町	11,263
7	館林市	78,742	25	嬭恋村	10,469
8	藤岡市	67,991	26	下仁田町	9,151
9	安中市	61,480	27	昭和村	7,766
10	富岡市	52,637	28	草津町	7,229
11	みどり市	51,732	29	長野原町	6,175
12	沼田市	51,411	30	片品村	5,007
13	大泉町	40,823	31	高山村	4,206
14	玉村町	37,800	32	川場村	4,036
15	邑楽町	27,358	33	南牧村	2,531
16	みなかみ町	21,588	34	神流町	2,374
17	吉岡町	19,218	35	六合村	1,684
18	中之条町	16,761	36	上野村	1,354

図1 群馬県の人口規模順位別市町村人口



(3) 人口増減率

人口が増加した市町村は、吉岡町、高崎市、昭和村など5市町村となっている。また、人口が減少した市町村は、南牧村、六合村、下仁田町、上野村、東吾妻町など31市町村である。

市町村別人口増加率は、吉岡町が1.13%で最も高く、高崎市0.33%、昭和村0.32%と続いている。一方、人口減少率が最も高いのは、南牧村で-3.58%、次いで六合村-2.77%、下仁田町-2.68%などとなっている。(表4参照)

なお、人口増加数が最も多かったのは高崎市の1,196人、次いで吉岡町215人、玉村町54人などとなっている。一方、人口減少数が最も多かったのは桐生市の-1,397人、次いで渋川市-663人、沼田市-536人などとなっている。

(統計表第2表参照)

表4 市町村別人口増減率(平成20年10月～平成21年9月) (単位:%)

人口増減率順位	市町村名	人口増減率	人口増減率順位	市町村名	人口増減率
—	群馬県	-0.29			
1	吉岡町	1.13	19	千代田町	-0.82
2	高崎市	0.33	20	板倉町	-0.82
3	昭和村	0.32	21	川場村	-1.03
4	玉村町	0.14	22	沼田市	-1.03
5	邑楽町	0.11	23	大泉町	-1.03
6	館林市	-0.09	24	長野原町	-1.09
7	太田市	-0.10	25	桐生市	-1.13
8	前橋市	-0.10	26	高山村	-1.29
9	伊勢崎市	-0.13	27	みなかみ町	-1.42
10	みどり市	-0.13	28	片品村	-1.46
11	草津町	-0.18	29	中之条町	-1.47
12	明和町	-0.35	30	甘楽町	-1.60
13	嬬恋村	-0.37	31	神流町	-1.98
14	榛東村	-0.51	32	東吾妻町	-2.15
15	藤岡市	-0.61	33	上野村	-2.59
16	富岡市	-0.65	34	下仁田町	-2.68
17	安中市	-0.74	35	六合村	-2.77
18	渋川市	-0.77	36	南牧村	-3.58

$$\text{人口増減率(\%)} = \frac{\text{人口増減(自然増減+社会増減)}}{\text{平成20年10月1日現在人口}} \times 100$$

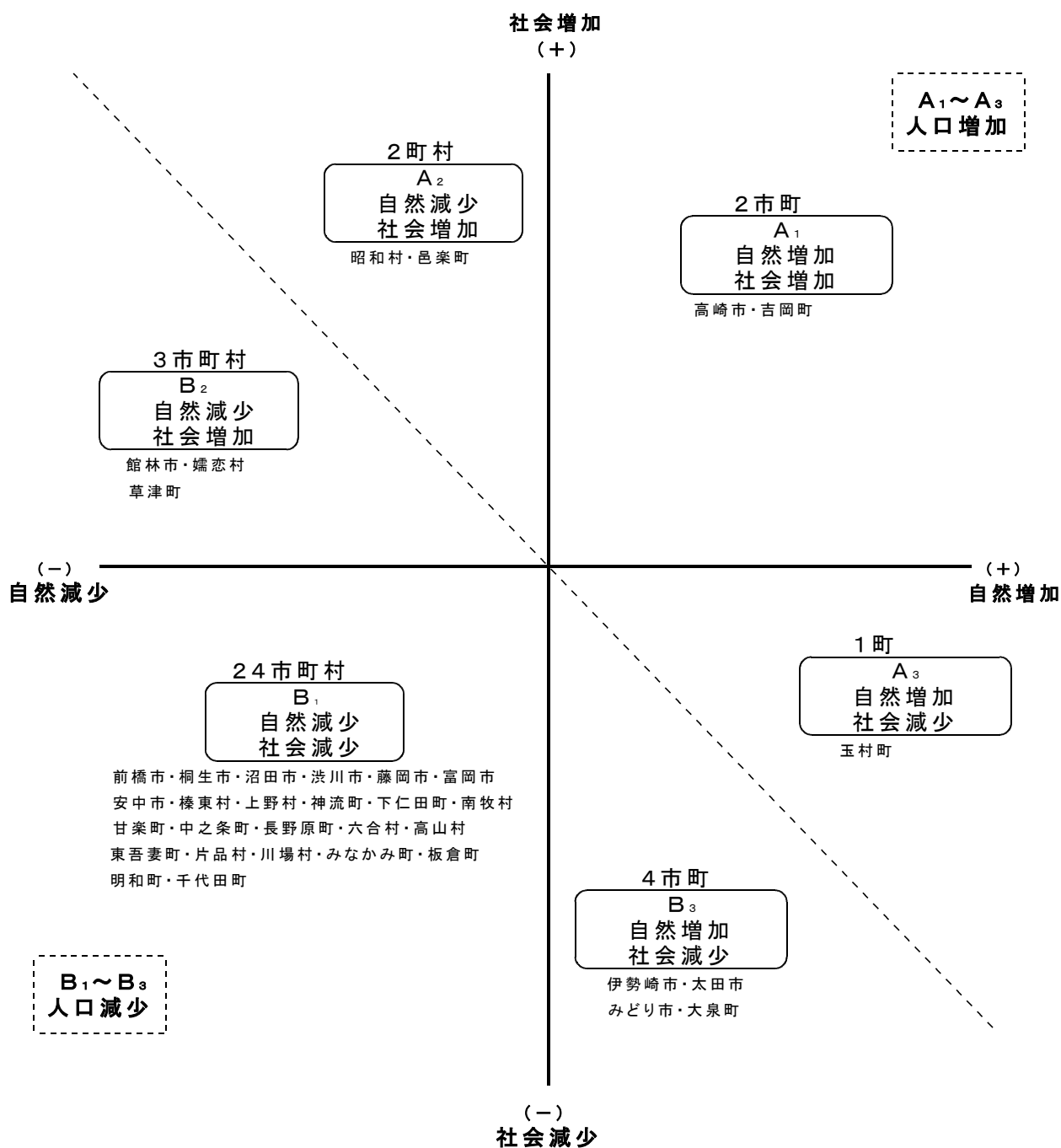
(4) 人口の増減要因

各市町村の人口の増減要因を図2のとおり6つに分類した。

点線（斜線）より右上のA_(1~3)は人口が増加した市町村であり、点線（斜線）より左下に位置するB_(1~3)は人口が減少した市町村である。

(図2参照)

図2 市町村別の人口の増減要因(自然動態と社会動態)



(5) 自然動態

市町村別の自然増加率をみると玉村町の 0.33%が最も高く、以下、吉岡町、伊勢崎市と続いている。一方、自然減少率が最も高いのは南牧村の -2.13%、次いで、神流町、上野村となっており、29市町村で自然減少となっている。

また、自然増加数が最も多いのは伊勢崎市の 396人(出生2,088-死亡1,692以下同じ)、次いで、太田市 395人(2,215-1,820)、高崎市 138人(3,485-3,347)などとなっている。一方、自然減少数が最も多いのは桐生市の -736人(808-1,544)、次いで、安中市 -311人(405-716)、渋川市 -267人(603-870)などとなっている。

出生率が最も高いのは太田市の 1.03%、以下、伊勢崎市、吉岡町と続いている。一方、出生率が最も低いのは南牧村の 0.15%、次いで神流町、下仁田町などとなっている。

死亡率が最も高いのは上野村の 2.37%、次いで南牧村、神流町などとなっている。一方、死亡率が最も低いのは玉村町の 0.55%、以下、吉岡町、大泉町と続いている。

(表5、統計表第2表参照)

表5 市町村別自然増減、出生、死亡率(平成20年10月～平成21年9月)(単位:%)

順位	市町村名	自然増減率	市町村名	出生率	市町村名	死亡率
—	群馬県	-0.12	群馬県	0.85	群馬県	0.97
1	玉村町	0.33	太田市	1.03	上野村	2.37
2	吉岡町	0.26	伊勢崎市	1.02	南牧村	2.29
3	伊勢崎市	0.19	吉岡町	0.99	神流町	2.19
4	太田市	0.18	高崎市	0.95	六合村	1.79
5	大泉町	0.17	大泉町	0.92	川場村	1.52
6	高崎市	0.04	みどり市	0.91	片品村	1.52
7	みどり市	0.02	玉村町	0.88	下仁田町	1.50
8	榛東村	-0.04	前橋市	0.87	東吾妻町	1.47
9	前橋市	-0.04	館林市	0.85	甘楽町	1.37
10	館林市	-0.11	榛東村	0.84	みなかみ町	1.36
11	邑楽町	-0.22	明和町	0.82	中之条町	1.35
12	藤岡市	-0.25	藤岡市	0.77	板倉町	1.32
13	明和町	-0.27	富岡市	0.75	昭和村	1.32
14	渋川市	-0.31	邑楽町	0.73	桐生市	1.25
15	千代田町	-0.33	千代田町	0.72	長野原町	1.19
16	富岡市	-0.40	長野原町	0.70	嬬恋村	1.16
17	沼田市	-0.43	渋川市	0.70	安中市	1.16
18	長野原町	-0.48	片品村	0.69	高山村	1.15
19	安中市	-0.50	昭和村	0.68	富岡市	1.15
20	草津町	-0.51	沼田市	0.68	沼田市	1.11
21	高山村	-0.52	安中市	0.65	明和町	1.10
22	嬬恋村	-0.52	桐生市	0.65	草津町	1.08
23	桐生市	-0.59	嬬恋村	0.64	千代田町	1.06
24	昭和村	-0.63	高山村	0.63	藤岡市	1.02
25	板倉町	-0.72	板倉町	0.60	渋川市	1.01
26	中之条町	-0.77	中之条町	0.58	館林市	0.96
27	みなかみ町	-0.80	東吾妻町	0.58	邑楽町	0.94
28	片品村	-0.83	上野村	0.58	前橋市	0.91
29	東吾妻町	-0.90	草津町	0.57	高崎市	0.91
30	甘楽町	-0.90	川場村	0.56	榛東村	0.89
31	川場村	-0.96	みなかみ町	0.56	みどり市	0.88
32	下仁田町	-1.22	甘楽町	0.47	太田市	0.85
33	六合村	-1.50	六合村	0.29	伊勢崎市	0.82
34	上野村	-1.80	下仁田町	0.28	大泉町	0.75
35	神流町	-1.98	神流町	0.21	吉岡町	0.73
36	南牧村	-2.13	南牧村	0.15	玉村町	0.55

(6) 社会動態

市町村別の社会増加率をみると、昭和村の0.96%が最も高く、以下、吉岡町、草津町、邑楽町と続いている。一方、社会減少率が最も高いのは、下仁田町の-1.46%、次いで、南牧村、六合村となっており、28市町村で社会減少となっている。

また、社会増加数が最も多いのは高崎市の1,058人(転入14,343-転出13,285以下同じ)、次いで吉岡町165人(900-735)、邑楽町88人(971-883)などとなっている。一方、社会減少数が最も多いのは、桐生市の-661人(3,219-3,880)、次いで伊勢崎市-657人(8,125-8,782)、太田市-600人(8,709-9,309)などとなっている。

転入率が最も高いのは大泉町の7.48%、以下、草津町、榛東村と続いている。一方、転入率が最も低いのは下仁田町の1.94%、次いで南牧村、片品村などとなっている。

転出率が最も高いのは大泉町の8.68%、次いで草津町、榛東村となっている。一方、転出率が最も低いのは川場村の2.31%、以下、神流町、片品村と続いている。

(表6、統計表第2表参照)

表6 市町村別社会増減、転入、転出率(平成20年10月～平成21年9月)(単位:%)

順位	市町村名	社会 増減率	市町村名	転入率	市町村名	転出率
—	群馬県	-0.18	群馬県	3.59	群馬県	3.77
1	昭和村	0.96	大泉町	7.48	大泉町	8.68
2	吉岡町	0.87	草津町	6.35	草津町	6.02
3	草津町	0.33	榛東村	4.92	榛東村	5.39
4	邑楽町	0.32	昭和村	4.88	長野原町	5.37
5	高崎市	0.29	長野原町	4.76	玉村町	4.55
6	嬬恋村	0.15	吉岡町	4.74	太田市	4.33
7	館林市	0.02	嬬恋村	4.47	嬬恋村	4.32
8	神流町	0.00	玉村町	4.36	伊勢崎市	4.28
9	前橋市	-0.06	太田市	4.05	千代田町	3.96
10	明和町	-0.07	伊勢崎市	3.96	昭和村	3.93
11	川場村	-0.07	高崎市	3.90	上野村	3.88
12	板倉町	-0.09	館林市	3.81	吉岡町	3.87
13	みどり市	-0.15	みどり市	3.57	館林市	3.80
14	玉村町	-0.19	前橋市	3.56	みどり市	3.73
15	安中市	-0.23	邑楽町	3.55	六合村	3.70
16	富岡市	-0.26	千代田町	3.48	前橋市	3.62
17	太田市	-0.28	明和町	3.26	高崎市	3.61
18	伊勢崎市	-0.32	上野村	3.09	南牧村	3.47
19	藤岡市	-0.36	板倉町	2.78	中之条町	3.41
20	渋川市	-0.46	富岡市	2.76	東吾妻町	3.40
21	榛東村	-0.47	中之条町	2.71	下仁田町	3.39
22	千代田町	-0.48	藤岡市	2.71	明和町	3.33
23	桐生市	-0.53	みなかみ町	2.61	邑楽町	3.23
24	沼田市	-0.60	桐生市	2.60	みなかみ町	3.23
25	長野原町	-0.61	沼田市	2.58	沼田市	3.18
26	みなかみ町	-0.62	神流町	2.56	高山村	3.14
27	片品村	-0.63	安中市	2.54	桐生市	3.14
28	中之条町	-0.70	渋川市	2.54	甘楽町	3.07
29	甘楽町	-0.71	六合村	2.42	藤岡市	3.07
30	高山村	-0.77	高山村	2.37	富岡市	3.01
31	上野村	-0.79	甘楽町	2.37	渋川市	3.00
32	大泉町	-1.20	川場村	2.23	板倉町	2.88
33	東吾妻町	-1.25	東吾妻町	2.15	安中市	2.78
34	六合村	-1.27	片品村	2.07	片品村	2.70
35	南牧村	-1.45	南牧村	2.02	神流町	2.56
36	下仁田町	-1.46	下仁田町	1.94	川場村	2.31

(7) 人口密度

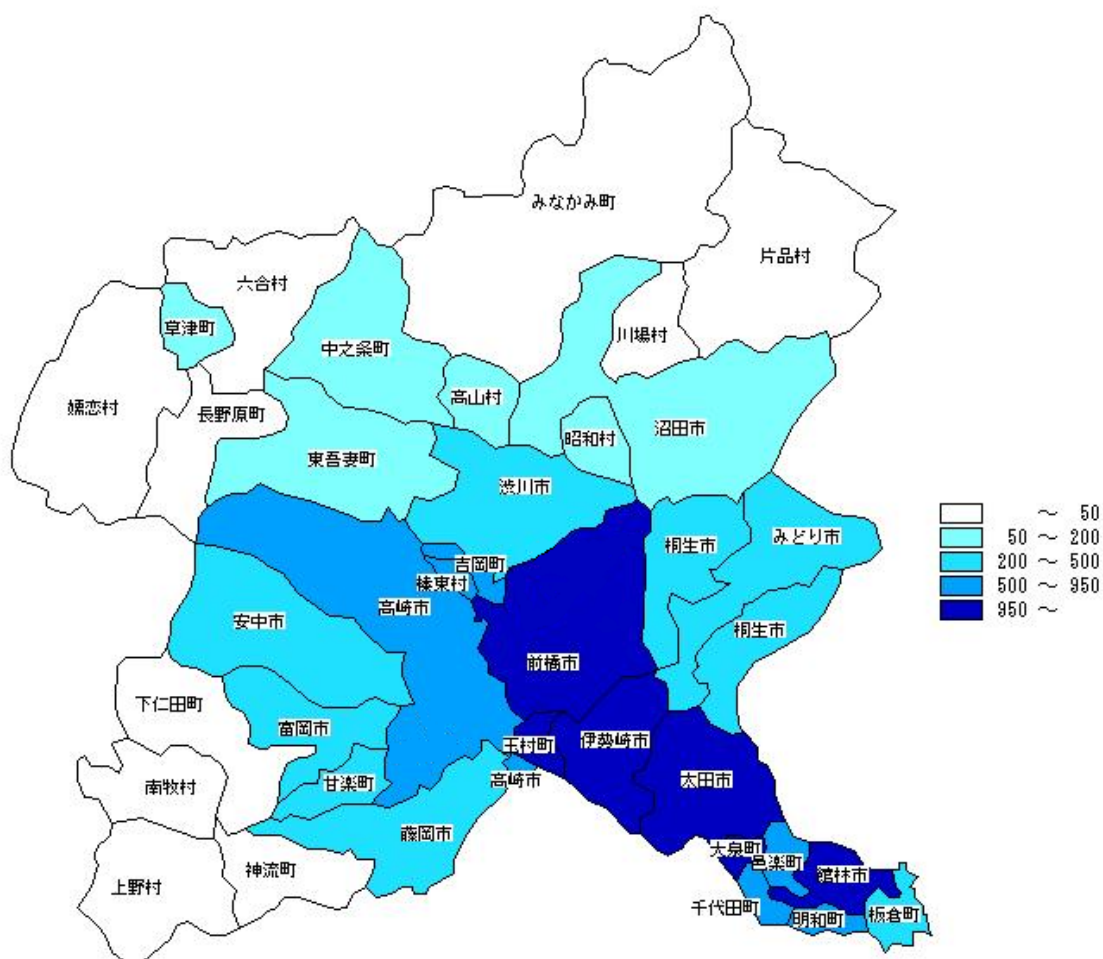
市郡別に人口密度をみると、市部 587.1人/km²、郡部 88.8人/km²で、市部は郡部の約6.6倍の人口密度となっている。

市町村別では大泉町が2,276.8人/km²で最も高く、以下伊勢崎市 1,470.7人/km²、玉村町 1,461.7人/km²、館林市 1,291.3人/km²、太田市 1,216.0人/km²と続き、逆に低いのは上野村の 7.4人/km²が最も低く、続いて六合村 8.3人/km²、片品村 12.8人/km²、神流町 20.7人/km²となっている。

なお、人口密度が最高の大泉町と最低の上野村では、約307.7倍の開きがある。

(図3参照)

図3 人口密度



3 本県の自然動態

平成20年10月～平成21年9月の1年間の自然動態をみると、出生数 17,176人、死亡数 19,514人で、自然増加数は-2,338人となり5年連続の減少となった。これを人口1,000人当たりでみると、出生 8.5人、死亡 9.7人で自然増加は-1.2人であった。

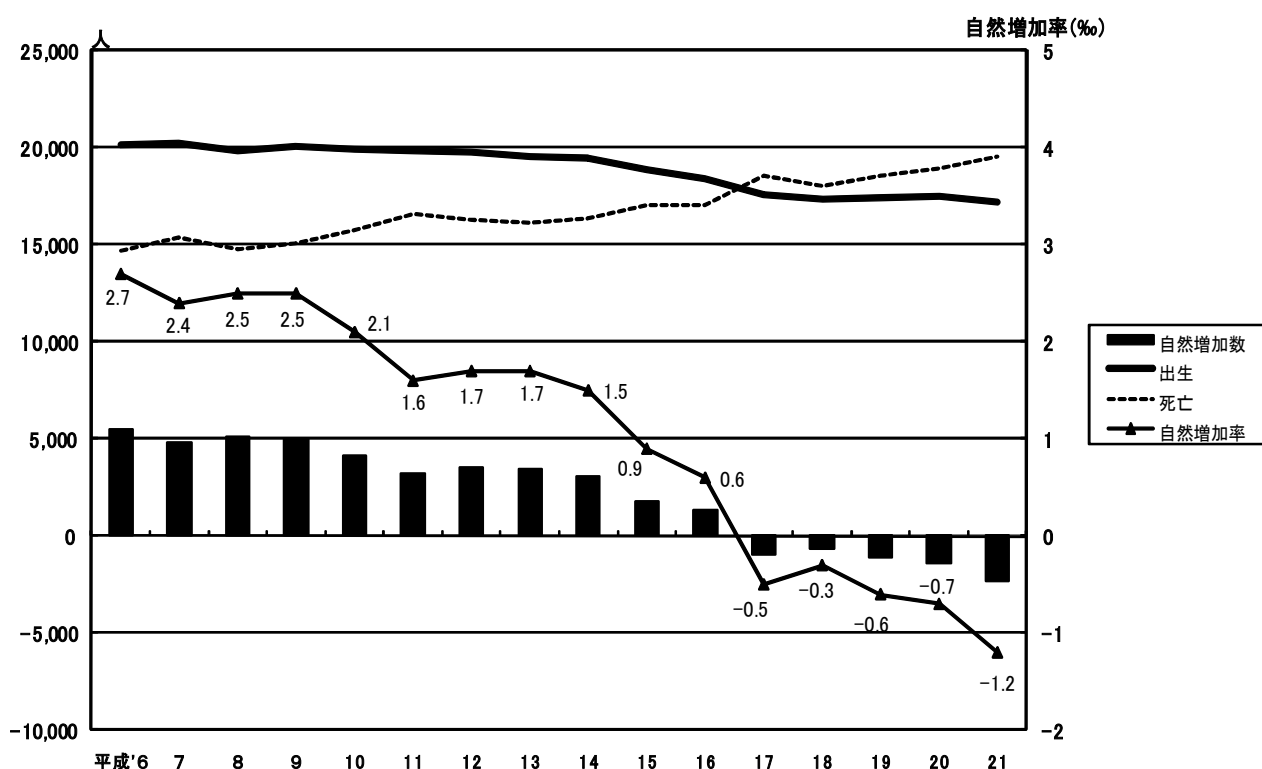
最近10年間の傾向をみると、出生率は減少しており、死亡率は上昇傾向にある。

(表7・図4参照)

表7 本県の自然動態の推移(平成6年～平成21年)

年次	実数			比率(1,000人あたり)		
	自然増加 人	出生 人	死亡 人	自然増加率 ‰	出生率 ‰	死亡率 ‰
6	5,459	20,169	14,710	2.7	10.1	7.4
7	4,827	20,194	15,367	2.4	10.1	7.7
8	5,085	19,869	14,784	2.5	9.9	7.4
9	4,986	20,084	15,098	2.5	10.0	7.5
10	4,147	19,933	15,786	2.1	9.9	7.8
11	3,218	19,825	16,607	1.6	9.8	8.2
12	3,531	19,784	16,253	1.7	9.8	8.0
13	3,457	19,566	16,109	1.7	9.7	8.0
14	3,092	19,472	16,380	1.5	9.6	8.1
15	1,785	18,830	17,045	0.9	9.3	8.4
16	1,315	18,390	17,075	0.6	9.0	8.4
17	-970	17,580	18,550	-0.5	8.6	9.1
18	-681	17,358	18,039	-0.3	8.6	8.9
19	-1,111	17,451	18,562	-0.6	8.6	9.2
20	-1,432	17,507	18,939	-0.7	8.7	9.4
21	-2,338	17,176	19,514	-1.2	8.5	9.7

図4 本県の自然動態の推移



4 本県の社会動態

(1) 本県の社会動態

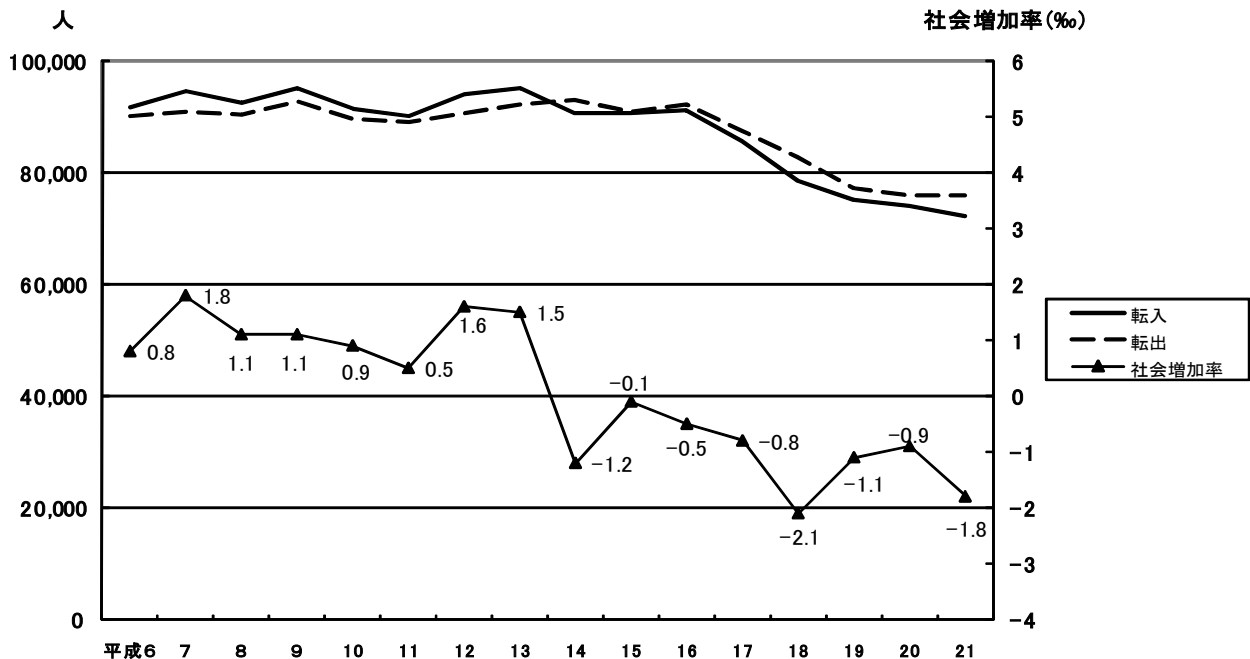
平成20年10月～平成21年9月の1年間の社会動態をみると、転入 72,248人、転出 75,823人であった。このうち県内間の移動は 32,828人であり、県外転入者 38,757人、県外転出者 42,282人であった。これに職権処理による減 50人を含めると差引 3,575人の転出超過となった。

最近10年間の傾向をみると、転入率は転出率を上回っていたが、平成14年から転出率が転入率を上回り、8年連続の転出超過となっている。(表8、図5参照)

表8 本県の社会動態の推移(平成6年～平成21年)

年次	実数									比率(1,000人あたり)						
	社会増加	転入				転出				社会増加率	転入			転出		
		計	県内	県外	その他	計	県内	県外	その他		計	県内	県外	計	県内	県外
6	1,542	91,752	45,801	45,457	494	90,210	45,801	43,622	787	0.8	45.9	22.9	22.7	45.1	22.9	21.8
7	3,588	94,642	47,627	46,505	510	91,054	47,627	42,852	575	1.8	47.2	23.7	23.2	45.4	23.7	21.4
8	2,117	92,575	45,981	46,069	525	90,458	45,981	43,712	765	1.1	46.2	22.9	23.0	45.1	22.9	21.8
9	2,282	95,035	47,227	47,242	566	92,753	47,227	44,779	747	1.1	47.3	23.5	23.5	46.1	23.5	22.3
10	1,735	91,409	44,251	46,570	588	89,674	44,251	44,581	842	0.9	45.3	21.9	23.1	44.4	21.9	22.1
11	1,011	90,161	43,472	45,657	1,032	89,150	43,472	44,555	1,123	0.5	44.5	21.5	22.6	44.0	21.5	22.0
12	3,202	93,955	44,558	48,804	593	90,753	44,558	45,584	611	1.6	46.3	22.0	24.1	44.7	22.0	22.5
13	3,063	95,208	44,856	49,888	464	92,145	44,856	46,605	684	1.5	47.0	22.2	24.6	45.5	22.2	23.0
14	-2,489	90,550	43,196	46,961	393	93,039	43,196	49,217	626	-1.2	44.6	21.3	23.1	45.8	21.3	24.2
15	-225	90,790	42,966	47,166	658	91,015	42,966	47,131	918	-0.1	44.7	21.1	23.2	44.8	21.1	23.2
16	-1,106	91,242	43,340	47,379	523	92,348	43,340	48,197	811	-0.5	44.9	21.3	23.3	45.4	21.3	23.7
17	-1,652	85,774	39,315	45,904	555	87,426	39,315	47,163	948	-0.8	42.2	19.3	22.6	43.0	19.3	23.2
18	-4,157	78,478	36,745	41,186	547	82,635	36,745	45,056	834	-2.1	38.8	18.2	20.3	40.8	18.2	22.3
19	-2,159	75,204	34,582	40,050	572	77,363	34,582	42,122	659	-1.1	37.2	17.1	19.8	38.3	17.1	20.9
20	-1,779	74,037	33,328	40,295	414	75,816	33,328	41,756	732	-0.9	36.7	16.5	20.0	37.6	16.5	20.7
21	-3,575	72,248	32,828	38,757	663	75,823	32,828	42,282	713	-1.8	35.9	16.3	19.3	37.7	16.3	21.0

図5 本県の社会動態の推移



(2) 県外転出入

この1年間の県外からの転入者数は38,757人で、移動前の住所地の上位は、埼玉県、国外、東京都、栃木県、神奈川県となっている。地方別では、関東地方からの転入が最も多く、全体の54.7%を占める。

また、1年間の県外転出者数は42,282人で、移動後の住所地の上位は、国外、埼玉県、東京都、神奈川県、栃木県の順となっている。地方別では、転入と同様、関東地方への転出が最も多く、全体の56.4%を占める。

1年間の転出超過数は3,525人となっているが、その内訳をみると、35道府県で転入超過、10都府県及び国外で転出超過となっている。

転入超過の1位は栃木県で、以下、長野県、愛知県、新潟県と続いている。一方、転出超過の上位は東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県となっている。

(表9参照)

なお、県内市町村間の人口移動及び市町村別県外との人口移動の詳細については、統計表(付表1~3)のとおりとなっている。

表9 都道府県別(国外含む)の転入者数、転出者数及び転出入超過数

(平成20年10月~平成21年9月)

都道府県名	転入者		転出者		転入超過数	都道府県名	転入者		転出者		転入超過数
	実数	比率	実数	比率			実数	比率	実数	比率	
総数	38,757	100.0	42,282	100.0	-3,525	近畿地方	1,349	3.5	1,438	3.4	-89
北海道	770	2.0	658	1.6	112	滋賀	110	0.3	158	0.4	-48
東北地方	2,164	5.6	1,764	4.2	400	京都	222	0.6	211	0.5	11
青森	308	0.8	263	0.6	45	大阪	565	1.5	539	1.3	26
岩手	293	0.8	189	0.4	104	兵庫	336	0.9	404	1.0	-68
宮城	598	1.5	489	1.2	109	奈良	85	0.2	85	0.2	0
秋田	198	0.5	171	0.4	27	和歌山	31	0.1	41	0.1	-10
山形	233	0.6	160	0.4	73	中国地方	469	1.2	429	1.0	40
福島	534	1.4	492	1.2	42	鳥取	26	0.1	24	0.1	2
関東地方	21,184	54.7	23,834	56.4	-2,650	島根	49	0.1	43	0.1	6
茨城	1,192	3.1	1,141	2.7	51	岡山	142	0.4	145	0.3	-3
栃木	3,376	8.7	2,913	6.9	463	広島	175	0.5	147	0.3	28
埼玉	6,857	17.7	7,748	18.3	-891	山口	77	0.2	70	0.2	7
千葉	1,682	4.3	2,094	5.0	-412	四国地方	199	0.5	186	0.4	13
東京	5,482	14.1	6,827	16.1	-1,345	徳島	36	0.1	42	0.1	-6
神奈川	2,595	6.7	3,111	7.4	-516	香川	67	0.2	59	0.1	8
中部地方	5,603	14.5	4,720	11.2	883	愛媛	58	0.1	51	0.1	7
新潟	1,254	3.2	1,087	2.6	167	高知	38	0.1	34	0.1	4
富山	162	0.4	148	0.4	14	九州地方	995	2.6	839	2.0	156
石川	176	0.5	172	0.4	4	福岡	330	0.9	287	0.7	43
福井	79	0.2	76	0.2	3	佐賀	77	0.2	53	0.1	24
山梨	258	0.7	260	0.6	-2	長崎	68	0.2	44	0.1	24
長野	1,325	3.4	1,053	2.5	272	熊本	107	0.3	85	0.2	22
岐阜	248	0.6	164	0.4	84	大分	73	0.2	68	0.2	5
静岡	851	2.2	762	1.8	89	宮崎	63	0.2	58	0.1	5
愛知	1,060	2.7	858	2.0	202	鹿児島	104	0.3	78	0.2	26
三重	190	0.5	140	0.3	50	沖縄	173	0.4	166	0.4	7
						国外	6,024	15.5	8,414	19.9	-2,390

群馬県移動人口調査の概要

1 目的

群馬県における人口及び世帯数を市町村別に推計し、その推移を明らかにして各種行政施策立案の基礎資料を提供することを目的としています。

2 調査の時期及び調査の対象

各月（1日から末日まで。）の市町村内に住所を有する者（外国人を含む。）の移動及び世帯数の増減とします。ただし、外国人のうち外国軍隊の軍人、軍属及びその家族並びに外交団（随員及び家族を含む。）は除外してあります。

3 結果の集計及び公表

毎月市町村長から報告された報告書は、県企画部統計課において集計され、「群馬県の人口と世帯の動き」として毎月公表されています。

また、1年間（前年10月～当年9月）の調査結果を収録して、「群馬県移動人口調査結果（年報）」により公表しています。

4 用語の解説

1) 人口

日本人人口と外国人を含めた総数

2) 世帯数

外国人の世帯を含めた数

3) 自然動態

ア 出生

住民基本台帳法（以下「住基法」という。）に基づき、出生届により住民票に追加記載されたもの又は外国人登録法（以下「外登法」という。）に基づき、出生により登録原票に新規登録をしたもの。

イ 死亡

住基法に基づき、死亡届により住民票から削除したもの又は外登法に基づき登録原票を閉鎖したもの。

4) 社会動態

ア 転入

住基法に基づき、県内市町村又は他都道府県若しくは国外から当該市町村に転入届により住民票に記載したもの、外登法に基づき、入国の届出によって外国人登録原票に登録したもの、居住地変更（同一の市町村の区域内の変更を除く。）登録を行ったもの、又は、住基法に基づき、職権により住民票に記載したもの。

イ 転出

住基法に基づき、当該市町村に他都道府県若しくは国外への転出届により住民票を削除したもの、外登法に基づき居住地変更登録申請により新住所地の市町村長に登録原票を送付したもの、登録証明書の返納（出国）により登録原票を閉鎖したもの、又は、住基法に基づき、職権で住民票から削除したもの。

統計表

* 「群馬県移動人口調査結果（年報）」はインターネットでも提供しております。

・ ホームページアドレス

パソコンからは、【<http://toukei.pref.gunma.jp/>】

画面左上の「統計速報」をご覧ください。

群馬県移動人口調査結果

（平成21年・年報）

統計資料番号21-13

平成22年1月印刷・発行

編集・発行

群馬県企画部統計課

前橋市大手町一丁目1-1

TEL 027-226-2408（直通）

平成22年10月1日に国勢調査を実施します。

国勢調査は、我が国に住んでいるすべての人を対象とする調査で、福祉政策や防災対策など様々な場面において利用されます。

国勢調査にご協力お願いいたします。



国勢調査

平成22年10月1日



統計調査に御協力を！

《 内容に関する問い合わせ先 》

群馬県企画部統計課 人口社会係

電 話 027-226-2408 (直通)